

Mr. サトーのインド通信

岡山から

夏真っ盛りのインドにまたまた出沒し、日夜検品三昧な私。
暑いです。灼熱です。
風が来ないところで検品していたらフラフラになってきます。

タミルの新年、カラーボールをぶつけ合い
派手にペンキまみれになるホーリーも終了し、
学生さんたちは夏休み。お金持ちさんたちはそろそろ国外退去準備中。
そんな中、暑さでなにも進展しないので今回は日本帰っていた際に
仕入れでお邪魔させていただいた万成石のお話をしたいとおもいます。



あえて挙げなくても皆様ご存知かと思いますが世界でも珍しいピンク系の桜御影。
色合いは桜のように柔らかですが、石の固さは抜群。(検品していてインドの石より手が切れます。)
環境、建築材の方が知名度は高いかもしれませんが著名人のお墓にも多く使われています。
千鳥ヶ淵戦没者墓苑にシベリア抑留者慰霊碑としても使われているようです。

万成石はそもそも玉石なのですが、その玉が大きいのが特徴です。
長尺物(こないだ10尺を仕入れ)や、大きな角回り(4尺角はよく仕入れます)も問題なし。
色は少々差があり、人それぞれに好みあるかと思いますが、個人的にはオレンジ系の色になりがちな
最赤手よりも淡いピンク色の薄口が好みです。
またインドの黒系の石にも併せれば、結構合うのでは?とも思っています。

極稀に空洞がぼっかりと現れ、煙水晶や紫水晶が現れるようです。(こないだは煙水晶が産出して
おりました。十数年ぶりだそう)

また玉石なのでスパッと割っての自然墓もお勧めです。
基本的に一点もので売り切り御免。
玉石を切った生産なので当たり前ですが、量産品が多い消費社会の現代、そうのもいいか
と思います。本当に個人的な話ですが、私はお墓を立てる際はこれと思っています。

…とまあかなり個人的な意見もはいましたが、世界でも珍しい石です。

弊社では丁場見学も随時行っておりますので、一度訪れてみるのもよいかと。

まったく関係ない話ですがインドで工場を経営されている社長さんが日本語習得、加工技術の向上を目的として、日本で1~2ヶ月研修したいという話があります。「うちに来ていいよ」という方いらっしゃいましたら、ご一報いただければ幸いです。

※万成石に関する詳しい資料等は弊社担当にお尋ねください。

大きい角回り、長尺物も問題なし(長尺物は写真写っていません。すいません)



(自然風のお墓 一点ものです)

